



広島県議会議員

くりはら俊二

県議会公明党ニュース



2022年 秋号

発行：公明党広島県議会議員団 担当者：栗原俊二
住所：広島市中区基町10-52 連絡先：☎082-513-4660 ✉s-kurihara@gikai.pref.hiroshima.jp

<皆さまのご意見ご要望をお聞かせください。>

物価高騰、コロナ対策を知事に要請

8月17日



公明党広島県議団(栗原俊二団長)は、県庁内で湯崎英彦知事に対し、本年度9月補正予算の編成などに関する要望書を提出しました。

席上、重点項目として、①中小企業や農漁業者への支援など原油・物価高騰対策強化②新型コロナに対応する保健所の体制強化支援と発熱外来医療機関の負担軽減③来年5月に広島で開かれる先進7カ国首脳会議(G7サミット)における平和発信に向けた準備加速④防災・減災の着実な推進⑤来年9月に予定される呉市の製鉄所閉鎖に伴う雇用対策や跡地活用——の5項目を要請しました。

湯崎知事は、要望事項について前向きに検討する考えを示しました。

長野県、東京都江戸川区で県外調査活動

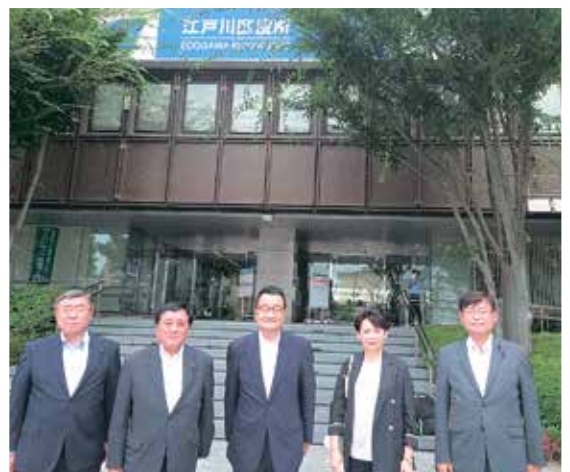
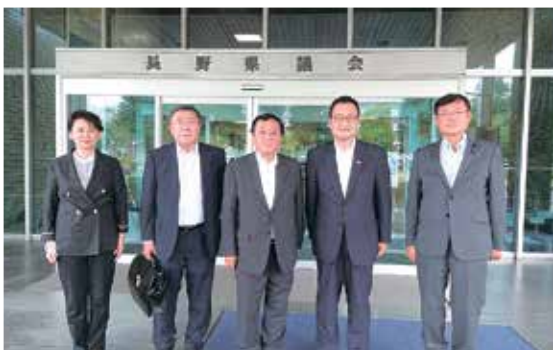
8月25日~26日

子どもの権利条例、子育て応援施策など



今後の政策立案のため、会派で長野県と東京都江戸川区を訪問し調査活動を実施しました。

長野県では子どもの権利条例制定の経緯と効果。江戸川区では子育て応援施策の推進状況をお聞きしました。



広島土砂災害献花式に出席

8月20日

2014年8月、77人が犠牲となった土砂災害は、発生から8年を迎えました。甚大な被害が出た安佐南区八木では住民主催の献花式が行われ栗原俊二県議会議員が参加しました。住民らのほか、斉藤鉄夫国土交通相や松井一美広島市長も出席され、犠牲者に黙とうをささげ、冥福を祈りました。



提案が実現!

無信号2段階横断歩道新設

安佐南区祇園



広島市安佐南区祇園の市道に歩行者が安全に渡れる「無信号2段階横断歩道」が設置されました。推進したのは栗原俊二県議です。

現場は住宅街にある大型ショッピングセンター付近

で、多くの車が行き交う。見通しは良いものの、信号機や横断歩道がなかったため、2018年には横断中の高齢者が車にはねられて死亡する事故が発生。さらに子どもが車と接触する事故も発生していました。

今回新設されたのは、中央分離帯部分に「交通島」と呼ばれる歩行者の待避所を作り、信号のない横断歩道を2回に分けて横断してもらうもの。交通島を経由することで、歩行者は横断時に片側車線ずつの安全確認で済み、1回当たりの横断距離も短くなります。県内では2カ所目。

栗原県議は18年の事故を受け、歩行者の交通安全対策を強力に推進。「無信号2段階横断歩道」の導入効果を調べるための先進事例の視察や勉強会を重ね、議会質問を通じて整備促進を訴えてきました。

これから取り組むテーマ

- ①災害に強いまちづくり・人づくり
 - ハード対策等による事前防災の推進
 - デジタル技術を活用したインフラ整備の推進
 - 災害に強い都市構造の形成
- ②子どもの未来を応援する施策の推進
 - 妊娠期からの切れ目ない支援の充実
 - 子どもと子育てにやさしい環境整備
 - ひとり親家庭の自立支援の推進
- ③人生100年時代到来を見据えた施策の推進
 - 高齢者が元気で安心して活躍できる生涯現役社会の構築
 - 高齢者の就労促進
 - リカレント教育の充実
- ④信頼される医療・介護提供体制の構築
 - 高度医療機能の整備促進
 - 地域の医療体制の確保
 - 福祉・介護人材の確保
- ⑤その他
 - 核兵器のない世界実現への貢献
 - 中小企業・小規模企業の経営支援強化
 - スポーツを活用した地域活性化推進
 - 持続可能な生活交通体系の構築

議会活動のおもな成果

- OG7サミット広島誘致を推進
- 被爆建物「旧陸軍被服支廠」全棟保存の方針転換を推進
- 県独自の返還不要給付型奨学金を創設
- 私立高校授業料に県独自の上乘せ補助を推進
- 乳児用液体ミルクを県防災拠点施設に備蓄
- 「マイタイムライン」を学校教育に導入
- 県警察に可搬式速度違反自動取締装置配備
- 県オープンデータライブラリー開設を推進
- 河川監視カメラを安川に設置(安佐南区相田)
- 危機管理型水位計を山本川に設置(安佐南区長束)
- 危険な変則四差路の横断歩道を廃止(安佐南区安東)
- 無信号2段階式横断歩道の設置(安佐南区祇園)
- 広島土砂災害被災地の砂防ダム整備を推進(安佐南区八木)
- ふるさと納税の返礼品に防災セットを導入(竹原市)